

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 地域運営推進会議にご入居者のご家族の参加はあるものの、ご入居者本人の参加がない。	最低、1年に1回は運営推進会議にご入居者様に参加していただく。	ご家族のご了解を得て、運営推進会議にご入居者様に参加していただく。予定としては27年の3月の会議に参加をめざす。	6ヶ月
2	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 職員間で制度に対する理解に温度差がある現状があり、現在利用している人への支援内容をより一層理解し、また、個々の必要性を検討し活用できるよう、制度について学ぶ機会を設けてはどうか。	職員間で権利擁護についての理解を深める。	27年度に権利擁護に関する全体研修を行う	6ヶ月
3	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がよりよく暮らすための課題を検討するための入居時のアセスメント記録について、様式・記載方法等に工夫が望まれる。	チームで共通のアセスメント方法を取り入れ、利用者の介護計画の質を向上する。	ユニット間ではばらつきのあるアセスメント様式を標準の様式に改善する。 定期的にケアプラン研修会を実施しケアマネジメントの理解を深める。	6ヶ月
4	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期に向けて、施設として対応可能な方針について、ご家族に対して明文化された書類が示されていない。契約時の口頭の説明にとどまっている。	重度化した場合の施設の指針を定める。	看護師の配置しグループホームにおける看取り介護につい	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。